

公開シン
ポジウム

ケンムン広場： 奄美のくらしと生物多様性

第2回



日時：平成27年11月28日(土)13:30~17:00

場所：元気の出る館（鹿児島県大島郡宇検村湯湾2937-83）

「生物多様性の保全と持続可能な利用」および「自然再生」などに関わる活動領域は、現在でも比較的良好な自然環境にめぐまれた地域の発展に新たな契機を与えます。鹿児島県奄美大島は、今でも出生率が比較的高く、自然と伝統文化に恵まれており、その森林域は世界自然遺産への登録をめざして新しい国立公園に指定されようとしています。独特な自然と文化を持続可能な形で活かすことは、地域の持続的な発展に寄与することが期待されます。そのためには、地域のくらしに根ざした文化と生物多様性、およびそれらの価値を、地域内外の多様な主体が十分に認識することが必要です。奄美大島では、そのための情報交流と協働モニタリングの手法の研究がすすめられています。このフォーラムでは、生物多様性とそれをめぐるくらしの文化に関する認識を深め・広げ・共有することをめざします。ケンムンは奄美大島の誰もが知っている自然の守り手の妖怪です。その「ケンムンが見守る広場」において、ケンムンを含む奄美の文化と生物多様性を語り合ってみませんか。皆様のご参加をお待ちしております。

プ ロ グ ラ ム

挨拶

- 13:30** ・宇検村長 元田信有
・研究代表者 中央大学教授 鷺谷いづみ

リレートーク

- 13:50** リレートーク1：奄美の生物多様性
・京都大学教授 加藤真
・京都大学名誉教授 戸部博
・中央大学教授 鷺谷いづみ ほか
リレートーク2：奄美のくらしと文化とケンムン
・奄美大島文化財連絡協議会会長 中山清美
・山口県立大学教授 安溪遊地 ほか

休憩

15:10 (20分間)

アプリ開発

- 15:30** 「ケンムン広場」データベースとアプリの開発
・東京大学教授 喜連川優（ビデオ出演）
・東京大学特任助教 安川雅紀

報告・討議

- 16:00** 活発な情報交流のためのケンムン広場をどう築くか
・参加者全員（司会：鷺谷いづみ）

お問い合わせ先：中央大学・保全生態学研究室（☎03-3817-7297）

主催：宇検村 日本学術会議環境学委員会自然環境保全再生分科会 中央大学・東京大学「自然保護地域における協働管理のための情報交流システムの開発：奄美大島をモデルとして」研究グループ

後援：環境省那覇自然環境事務所 鹿児島県 奄美群島広域事務組合